

第34回学長選考会議議事概要

日 時 平成28年3月17日（木）15時00分～17時20分
場 所 本部棟特別会議室
出席者 國澤（議長）、檜見、加納、井関、鏡味、青木、川本、中西、林、矢部、向、柴田
欠席者 金子、濱田
オブザーバー 石原、上村

1 前回議事確認

第32回学長選考会議 平成27年3月19日

第33回学長選考会議 書面審議

2 議 事

(1) 平成27年度業務に係る学長へのヒアリング及び意見交換

議長から、平成27年度業務に係る学長へのヒアリング及び意見交換の実施方法等について説明があった後、山崎学長から、資料1に基づき、平成27年度業務について説明があった。

その後、意見交換が行われ、委員から、主に次のとおり意見が述べられた。

- ・ YAMAZAKI プランは項目が多く理解しにくいので、国立大学法人運営費交付金の重点支援の3類型に合わせ、体系化してはどうか。
- ・ YAMAZAKI プランは多様で多岐にわたっているが、これだけ多くの分野をテーマに掲げ、これだけ多くの構成員が参画することは、これまでなかったと思う。このことが今後の金沢大学を発展させる要となるので、参画している構成員の現状を理解しつつ、推進していただきたい。
- ・ 教育や研究を行う場合、財政基盤が盤石でなければならず、研究を盛り上げながら、資金を獲得していく方向を志向していただきたい。
- ・ 改革に当たっては、教員のみならず、事務職員が教育研究にどれだけ関わることが重要であり、是非事務職員のマンパワーを活用していただきたい。
- ・ 国際ネットワークの構築については、単に連携大学がいくつあるかが重要ではなく、実質的にどのようなことを成し遂げるかを明確にしなければならない。タフツ大学との連携については、教員個々の交流ではなく、大学として連携をどのように進展させていくのが重要である。
- ・ 大学ランキングについて、全ての分野でランクインすることは、本学の規模をもってして難しいと思われるので、いくつか特徴ある分野を見出し、これを重点的にアピールするべきである。

(2) 学長選考の見直しの方向性

事務局から、資料2に基づき、学長選考見直しの方向性（任期、意向投票等）について説明があり、審議の結果、本会議における意見を踏まえ、事務局で修正案を作成し、次回の本会議において検討することとなった。

3. その他

(1) 次回開催予定

平成28年5月 経営協議会終了後